

北京同窓会懇親会出席者

北京外語会メンバー（17名）

C昭34 花澤榮治 朝陽貿易(株)、高橋仁生 北京国際網球中心(有) C昭36 橋本嘉文 日刊工業新聞社、大久保勲 (株)東京三菱銀行

C昭37 樺島康介 日本鋼管(株) E昭39 原秀夫 北京郵電大学 C昭41 松本和夫 中石化荏原機械(有) C昭43 金丸健二 日本貿易振興会 F昭45 藤倉洋一 (株)さくら銀行

I昭46 原 良一 資生堂麗源化粧品(有)

C昭46 袴田 勇 豊田通商(株)、石黒恒夫 北京電通広告(有)、菊川良一 オリンパス光学工業(株) C昭48 杉田松太郎 丸紅(株) C昭50 大木義弘 日本鋼管(株) C昭52 大川正信 北京電通広告(有) C昭53 松永収二 味の素(株) C昭57 智片久美子 国際SOS援助公司

北京訪問メンバー（14名）

R昭25 古茶兵衛 東京外語会副理事長

E昭29 青山 保 会報委員会副委員長

D昭31 石原隆良 支部連絡委員会委員長

C昭33 中島 宏 元共同通信北京支局長

R昭34 今西昌幸 メンバーシップ委員会委員長

F昭39 相馬壽美乃 文化委員会委員長

F昭50 寺田朗子 名簿委員会委員長

岩淵秀道 青山氏友人 岩淵寛子 岩淵氏夫人

加藤厚子 加藤良隆氏 (Po昭33) 夫人

寺田心平 寺田氏子息 石原計子 石原氏夫人

加賀田祥光 石原計子氏の兄

桃井淑子 石原計子氏の妹

外語会海外ツアー 『北京秋天の旅』を終えて

青山 保 (E昭29)

異国の香に酔い、在留の同窓諸氏と触れ合う
わが海外ツアーも回を重ねること3度。今回は

中国の首都、北京でした。旅のキャッチフレーズ『北京秋天』に嘘偽りはなく、4日間の滞在中、まさに一片の雲もない見渡すかぎりの青空に包まれて、古きをたずね歩く毎日でした。

海外ツアーの目的は、観光はむろんのことですが、訪問地の外語会支部の皆さんとの顔合わせに興奮抑えがたい思いをする貴重な機会が持てることです。私自身ツアー参加は2回目でしたが、ツアーの回数が増すにつれてこのイベントの重さがいよいよ増してきていると痛いほど感じました。

成田を発って北京入りしたその夜、もう一刻も早く東京の話を、とばかり、北京同窓会の皆さんは私どもの宿舎の長城飯店の一室に懇親会の席を用意して待っていてくれました。

いま北京には東外大同窓が、ビジネスマン、留学生を合わせて70人ほどいるそうです。当夜の懇親会には、北京同窓会の“年長組”ともいえるような約20人が集まってくれました。出席の皆さんの話では、東京組の卒業年次に合わせて若手をご遠慮申した、とか。

古茶兵衛副理事長が外語百周年記念事業のための募金について、また石原隆良支部連絡委員長が国内、国外の外語会支部活動について話をすれば、北京の同窓の皆さんの神経のアンテナはいっそう緊張を高めるようでした。中嶋嶺雄学長と鈴木幸壽理事長のメッセージを相馬壽美乃文化委員長が代読しました。

花澤榮治会長をはじめ北京同窓会の皆さんのお話は、日中間の政治外交をはじめ、映画、ゴルフ、テレビ事業など。仕事、趣味いずれにも北京生活を満喫している様子が伺えました。

日中国交回復25周年、そして香港返還の年とあって、中国の話題は尽きることを知りませんでした。私事ですが、新聞記者時代、国連加盟国の半数ぐらいいは訪れているというのに、すぐ隣の中国の北京は今度が初めて。それが、25年前、私が香港特派員時代に仲良くした橋本嘉文さん（日刊工業新聞北京支局長）と再会できたことは奇遇という言葉だけではすまされません。橋本さんは北京に骨を埋めてもいい、というほど中国は魅力の国なのでしょう。

東京からのツアー参加者は多くはなかったのですが、異色なメンバーが揃っていました。石原さんの奥さんとお兄さん、お妹さんも参加しましたが、1948年の中華人民共和国成立直前まで北京にいたそうです。当時住んでいた家を訪ねていました。寺田朗子さんの息子さん在北京に語学留学中でした。中国語学習2年足らずというのにもうペラペラ。私どもの観光ツアーにときどき一緒に通訳をしてくださいました。万里長城も紫禁城も不変、だが北京の町の様子は高層ビルが林立の変わりよう。魅惑の尽きない北京、中国といえそうです。